



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

平成23年 第1回 市議会定例会 代表質問 第2回 臨時会 代表質疑

安全で安心して暮らせる まちづくりを!

平成23年3月1日の代表質問では、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、川崎市の防災対策、救急医療体制の強化、若者・高齢者の就業支援、子宮頸がん予防ワクチンの接種事業など23項目を取り上げました。また統一地方選挙後に開催された5月23日の代表質疑でも防災対策の強化充実を求めました。



質問に立つ岩崎議員

▶ 携帯電話「エリアメール」今年度から導入へ!

防災行政無線、デジタル方式による再整備へ



石巻の現状

代表質問では、正確な災害情報を速やかに伝えるため、全国に一斉に配信する「全国瞬時警報システム」の導入と、緊急速報「エリアメール」の活用について質問しました。その結果①「全国瞬時警報システム」の受診テストを開始する。②野外スピーカーなどの防災無線については聞こえやすいデジタル方式に再整備する。ことが明らかになりました。

また特定の地域において、多くの携帯電話あてに一斉に災害情報

を配信する「エリアメール」を導入し、災害時の的確な行動対応なども配信する予定です。

代表質疑では、東日本大震災を受け①被災地の復興支援について、②川崎市の備蓄内容の見直しについて、③放射性物質の検査体制の充実について対応を求めたところ、食糧・毛布など備蓄計画を見直すとともに、放射性物質の検査は南部1か所で行なわれていましたが、北部でも実施するとの回答を得ました。

▶ 救急医療体制の充実強化を!

救急隊が到着してから患者を医療機関へ搬送するまでの現場滞在時間が、政令市でワーストワンであることから再度取り上げ、救急医療体制の充実強化を強く求めました。

健康福祉局長は「重症患者に対し24時間365日受け入れが可能な初期救急型拠点病院の整備に取り組み、周産期救急医療については、日本医科大学武蔵小杉病院におけるNICU(新生児集中治療室)など9

床の増床を支援する。中部小児急病センターについて検討していく。また高齢者の重症患者の受け入れが滞ることから、救急病院から長期入院患者が円滑に転院できるよう市内の療養病床数の確保に取り組む。川崎社会保険病院の療養病床は昨年50床の整備を行ったが、同病院の将来のあり方が未だに不明確なことから医師、看護師の確保に苦慮しており、入院患者は半数にも満たない状況」と答えました。



©NEW KOMETO

公明党川崎市議団は国会議員を通し、社会保険病院等の経営主体の確立を訴えています。